

## 被爆70年の聞き取り

### 「“ノーモア・ヒバクシャ”を実現するために」

広島・長崎の被爆から間もなく70年を迎えようとしています。

この長い間、被爆者のみなさんはどのように生き、何を願って生きてきたのでしょうか。

この「聞き取り」は、いま人生の最終ラウンドを迎えた被爆者のみなさんの思いのたけを語っていただき、聞いた人がそれを受けとめ、次の世代につないでいこうという取り組みです。

この聞き取り票には6つの質問項目を設けてありますが、その内容は大きく分けて、被爆したときのこと、その後の人生、そして今願うこと——の3点です。すべての項目を埋めなければならない、ということはありません。話していただくきっかけとして、この項目どおり質問していくこともあるでしょうし、自然な流れで話していただいて、あてはまるところに記入していくということもあると思います。

語り手と聞き手の交流の中で、被爆者のみなさんの生きてきた証を受けとめていきましょう。

この「聞き取り」でうけとった被爆者一人ひとりの声は、2015年のNPT(核兵器不拡散条約)再検討会議に届けるなど、さまざまなステージにおいて活用し、核兵器廃絶への国際世論を高めることにも反映させたいと思います。

2013.6 日本原水爆被害者団体協議会

ノーモア・ヒバクシャ記憶遺産を継承する会

#### ■ 基本事項 (太線の枠内にご記入ください)

記入年月日	2013年4月25日	整理No.	—
ふりがな 氏名	土田 和美 (つちだ かずみ)	性別	1. 男 2. 女
生年月日	明・大・昭 15年 月 日 (被爆時年齢4歳11か月)		
現住所	〒 電話 FAX		
被爆地	1. 広島 2. 長崎 [町名 牛田町 距離 2.5 km]		
手帳区分	1. 直爆 2. 入市 3. 救護 4. 胎内 5. 健康診断受診者証 [一種・二種] 6. 被爆者の子・孫 7. その他		
氏名の公表の可否	1. 可 2. 不可		

1. 「あの日」やその直後のことで、今でも忘れられないこと、心残りなことはどんなことですか？

とくに忘れられない光景や、それを見て感じたことを具体的にお聞かせください。

被爆時は父母と弟二人、生後6か月の妹の6人家族、早稲田神社のそばに住んでいました。あの日の朝、近所の一つくらい年上だったかな、は一ちゃんという男の子と一緒に妹のために配給の牛乳を取りに行きました。牛乳を受け取り、帰りは一ちゃんが牛乳を入れた籠を持ってくれました。帰宅途中に被爆しましたが、記憶にあるのは泣きながら立ち上がる時ももうとした中、炎があがっていたこと。一ちゃんも泣いていた。早稲田神社宮司宅は避難者でいっぱいになっていた。妹を助け出した母と一緒に近所の防空壕に避難したが、ここも人でいっぱいだった。バケツをひっくり返したような雨が降ってきた。

父がどう帰ってきたかは覚えていない。妹がお腹を壊していたのでお医者さんに相談に行き、裏口で奥さんと話していて被爆したらしい。頭にゲートルをまいた真っ黒な父の姿を覚えている。父は9月11日に3日間苦しんで亡くなった。縁側の障子の影から父の様子をうかがっていた記憶がある。父のうなり声に耐えられなかったのだと思う。父を茶毘にふす薪を探すのが大変だった。土手の上から母と弟妹5人で煙を見送った。

〔被爆時、年齢が幼くて当時の記憶がない方（被爆二・三世の方）について〕

自分が被爆者（被爆二・三世）であることを、いつ、どのようにして知りましたか。

自分が被爆者だと感じたのは、船橋（千葉県）に住んでいた中学校一年生の時。担任の先生から東京に原爆が落ちたら被害はこれくらいという話を聞いて、そういう大変なことに私はあったんだと初めて感じた。

16歳の誕生日に二つ年下の友人が白血病にかかる。禎子さんが亡くなった時代で、原爆に遭っていると何が起るかわからないと意識した。

それ以降、原爆のことを人に話すことはなく、普通の青春時代を生きてきた。

2. 被爆してから今日までの人生で、とくにあなたの心に残っていることはどんなことですか？その中で被爆したためにつらかったことがあれば、お聞かせください。

4. あなたのまわりで亡くなられた被爆者について、忘れられないことや言葉があればお聞かせください。

(例)・家族を失った	・病気がちになった	・自分の健康がいつも不安
・就職・仕事が思うようにならず		・進学や学業が思うようにならず
・結婚・家庭生活が思うようにならず		・子供や孫の健康・将来が不安
・被爆をかくして生きてきた		・あの日のできごとが心の傷になって残った

また、そのつらさを抱えながら生きてくるなかで、あなたの支えになったのはどんなことですか？

母は被爆した時のことについては、水をもらった帰りに男か女かもわからない怪我人に「水を下さ

い」と言われてあげずにはいられなかったこと。手の先にその女学生の顔が浮かんで来て話せなくなると言っていた。私もそれ以上は聞かないようにしていた。でも、今思えばもっと早く母の胸の内を吐き出させてあげればどんなにか母は楽だったのではないかと思う。

父を亡くした私たちは草津にあった母子寮に入り、私はそこで小学校～高校までを過ごした。母の勤め先の倒産など苦しい思いをしたこともあったが、母子寮では母が働いていても寮母さんがいたし四季の行事もあり楽しかった。母はひとりで4人の子どもを育てたが「私は働いて食べさせただけ」と言って、愚痴を言わなかった。そんな母があるとき口にした「和美ちゃんは美大に行かせてあげたかった」という言葉に母の思いが込められていたと感じる。母が子どもを全部背負って生きてきた。母も私も戦争がなかったら父が亡くなることもなかったし、どんな人生だったろうと考えることがある。

は一ちゃんが首に火傷をしていたことを8月6日になると思います。10年くらい前から、私が無傷だったのは一ちゃんの陰になっていたからではないか。祈念館に行くとは一ちゃんを検索で探している。

1.5kmで生きている人はいるのに、なぜ父は死んだのかと思う。

### 3. 被爆者として、今一番困っていること、とくに心にかかっていることはどんなことですか？

(例) ・自分の健康 ・自分と家族の生活 ・子や孫の健康 ・原爆で死んだ人たちのこと  
・また核兵器が使われるのではないかと ・日本がまた戦争する国になるのではないかと など

#### その内容を具体的に

本当に核廃絶が出来るのか、証言するときに確信が持てない。

エジプトのカイロで質問されたとき「母は子ども全部を背負って生きてきた。戦争で女の方はみんな泣いていた。世界中のお母さんを泣かせないで」と訴えた。でも、子どもを虐待するニュースが伝えられるような中で、このメッセージは届くのかと感じることがある。

### 5. いま、被爆者として、アメリカ政府や日本政府にこれだけは訴えたいこと、求めたいと思うことはどんなことですか？

#### アメリカ政府に対して

反米感情は持っていないとい。政府に対しては難しい。言うは易しになりたくない。(言葉が難しいです)

#### 日本政府に対して

どうして被爆国であるのに核廃絶に向けて一生懸命声を上げてくれないのか。

被爆者に対してだけ何かしてほしいとは言えない。健康管理手当を税金泥棒みたいに言

う人がいる。

6. いま、被爆者として訴えたいこと、世界と次世代の人々にこれだけは伝えておきたいことをお聞かせください。

2007年に母を亡くし、2008年に母の残した手記を持ってピースボートに乗った。核廃絶を訴える使命があり、若い人に伝えていかなくてはならないと思う。楽しいことばかりではない。辛いこともある。「(被爆)写真を見なくてはならないと思うけれど見ることができない」という若い人がいた。私も見なくてはと思い見るが、そうすると夢を見る。写真に写っている被爆者の胸の内を聞いてあげたくなる。

ピースボートで世界で戦争の傷痕を見た。いろいろな国で平和活動をしている人たちに会い、アメリカにもそういう人たちがいて私の話を聞いてくれた。

ヒロシマのヒバクシャとして、母の生きてきた姿を見て、世界中のお母さんを泣かさないと訴えてきた。女の人たちにそのために立ち上がってほしい。

イスラエルのホロコースト記念館では経験のない若い世代がガイドをしてくれた。若い人たちにヒロシマをつないでいくことが私の課題だと思っている。

\* 被爆の実相を伝え残すため、あらためて詳しくお話をうかがうことはできますか？  可  否

[聞き取りをおこなった方の記入欄]

氏名	島村 雅人	TEL/メール	
住 所	〒		
聞き取りの感想、受け継ぎ手として世界と次世代の人々に伝えたいことをお書きください。			
<p>土田さんの証言を聞いたのは2回目。確か最初はピースボートで世界をまわった直後だったと思います。その時は、お母さんの手記を中心にお話されていて、「世界中のお母さんを泣かさないと」というメッセージはありませんでした。世界中を回られる中で、土田さんがお母さんのこと、自分の人生を振り返って紡ぎだしてきた素敵な言葉だと思いました。</p> <p>日本政府は、原爆被害をはじめとする戦争被害について、およそ戦争という国の存亡をかけたの非常事態のもとでは国民はその被害を受忍せよ、としています。そういう政府が、日本の安全はアメリカの核に守られているとして核兵器を容認してきました。原発でも同じことが繰り返されようとしています。</p> <p>みんな暮らしが大変で、考えたり、声を上げたりするのがしんどい状態ですが、被爆者のみなさんと一緒に考え、行動できる機会をつくり、参加していきたいと思っています。</p>			

<返送先> 〒102-0085 東京都千代田区六番町 15 プラザエフ 6F

ノーモア・ヒバクシャ記憶遺産を継承する会 電話/FAX03-5216-7757